

令和8年度 在宅医療・介護普及啓発講演会報告・

アンケート結果

○概要

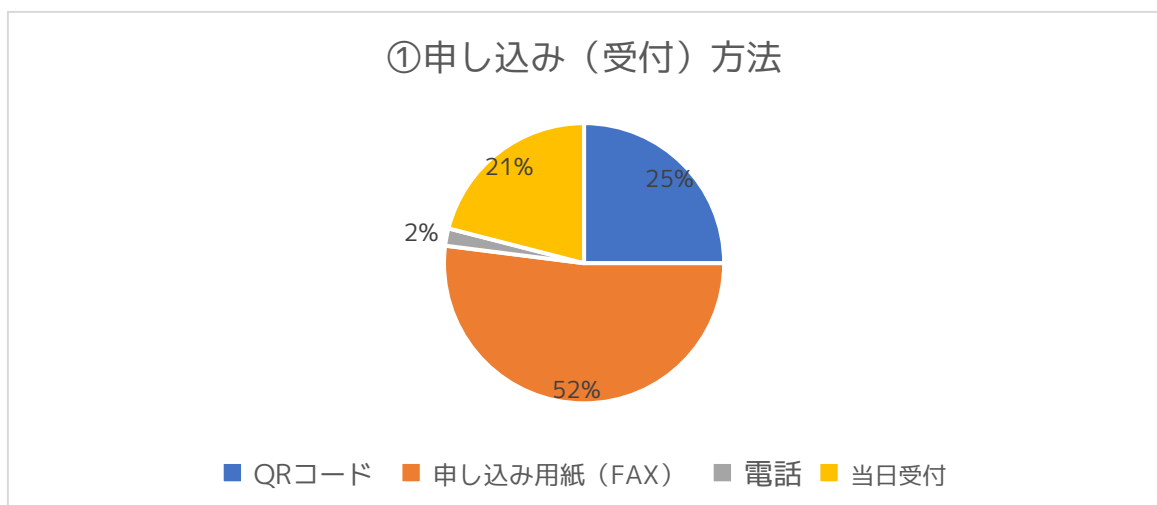
- ・開催日時...令和8年7月26日(日)12時30分から16時まで
(受付12時～)
- ・開催場所...源内音楽ホール(さぬき市鴨庄4610-44)
- ・テーマ...認知症の理解 つながる優しさ
- ・申し込み方法...チラシ・ポスター記載のQRコード、FAX、電話、
当日会場での受付
- ・申し込み期間...令和8年6月22日(月)～7月15日(水)
参加人数...251名
アンケート回答数(回答率) ...251名中 141名回答(回答率56.1%)

令和8年7月26日(日)における普及啓発講演会にて、様々な地域や職種、また一般地域住民の方に参加していただいた。

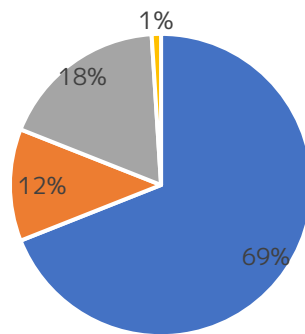
申し込み期間を設けていたが、定員に達していなかったため講演会2日前まで申し込みフォームを公開。申し込みフォームを閉じてからは電話や当日の受付も可能であることを標記し、当日受付も見られた。

以下、アンケート結果より①申し込み(受付)方法、②住まい地域、③年代、④職種等に分けてグラフを作成し考察したものとなる。

○区分別(単位：%)



②住まい地域（一般住民と医療介護関係者）



■ さぬき市 ■ 東かがわ市 ■ その他の市町村 ■ 回答なし

その他の市町村

内訳

（単位：人）

高松市：19人

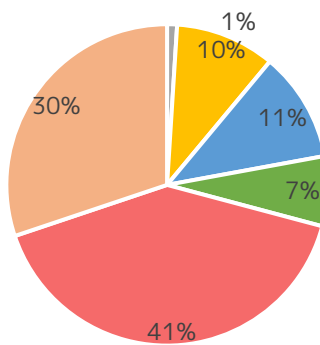
三木町：4人

綾川町：1人

善通寺市：1人

大阪市：1人

③年代



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

医療職内訳：（単位：人）

保健師：2人

看護師11人

理学療法士：1人

社会福祉士：1人

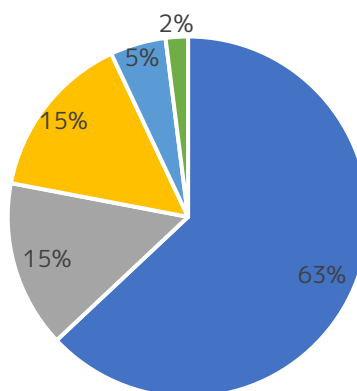
薬剤師：1人

作業療法士：1人

記載なし：1人

看護師資格保持者：2人

④職種等



■ 一般地域住民 ■ 学生（寒川高校以外） ■ 医療職 ■ 介護職 ■ その他

その他の職種内訳（単位：人）

地域包括職員：3人

民生委員・児童委員：5人

認知症サポーター：1人

記載なし：1人

介護職内訳（単位：人）

介護福祉士：4人

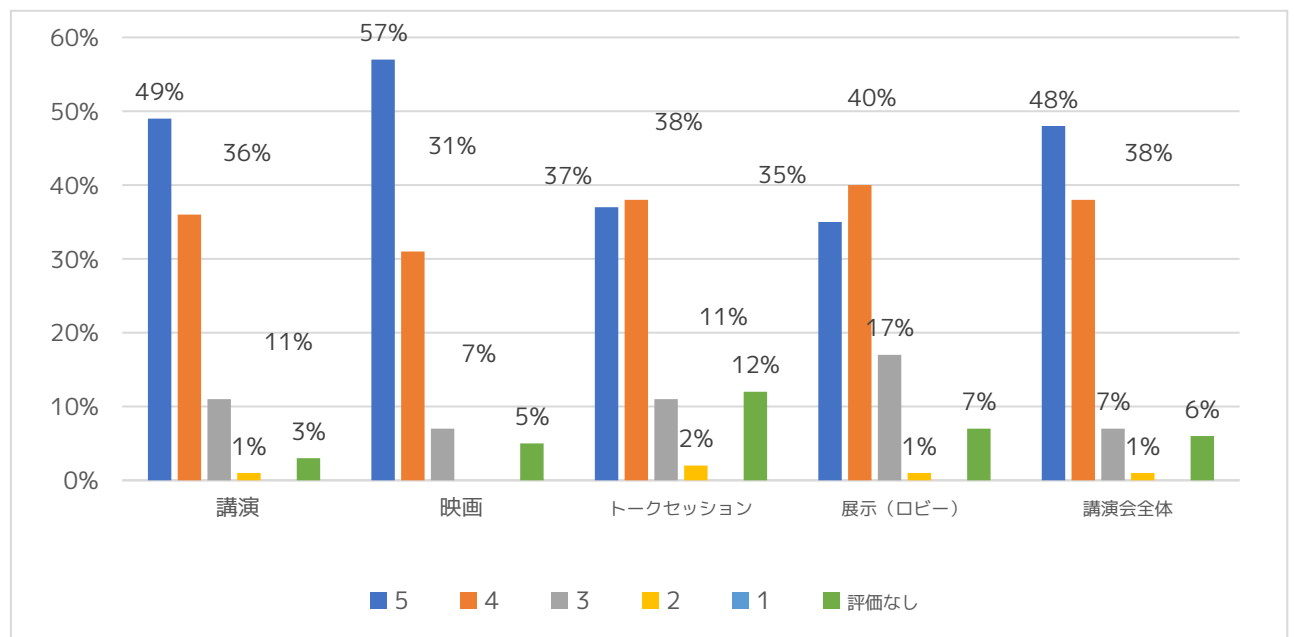
生活相談員：3人

ケアマネジャー：3人

介護職員（兼事務）：5人

記載なし：5人

○講演会 内容の評価（5段階）



○考察・反省

申し込み人数...さぬき市 123名
 東かがわ市 20名
 その他の市町村（三木町・高松市） 19名
 介護事業所・医療機関 32名
 合計：194名

実際の参加（受付）人数...さぬき市 112名
 東かがわ市 19名
 その他の市町村（詳細はグラフ参照） 22名
 介護事業所・医療機関 55名
 展示のみの参加人数 10名
 寒川高校 学生・教諭 22名
 医師会・来賓 11名
 合計：251名

来場者の統計は前頁のグラフ、上記のとおりである。

206名はさぬき市・東かがわ市・介護事業所・医療機関から。寒川高校は別に学生用のアンケートを実施（別紙参照）。

グラフからも分かるように、来場者のほとんどが70代・80代の高齢者であった。その次が50代・

60代である。「認知症」という介護とつながりが強いテーマだったこともあり、これから介護を（に）「受ける年代」「関わる年代」が多かったように見受けられる。

オープニングアクトの虹色サクソフォンカルテットの演奏ではまさにその年代になじみある曲目で、「みんなで楽しむ」参加型であったため、好評であった。

しかし、スライドに歌詞を出したものの、やはり高齢者となると遠いところの文字は読みにくいため、「歌詞カードを配ってほしかった」という声もアンケート内にみられた。

また映画「だいじょうぶ」では短編であった中に認知症の症状や家族の反応、地域の人々との関りが現れており、「とても身近に感じられた」との声が多くあり、地域の一員として「認知症」と向き合い「優しく見守る」大切さを伝えられたのではないかと。

講師である、いわき病院副院長 中村 光夫氏の講演では途中、動画が再生されないトラブルもあったが、講師の配慮もあり「ユマニチュード」への関心を集められたように思う。講師自身の経験や事例を交えてお話いただくことで、より聞いている側に伝わりやすい内容であった。動画が再生されればもっと伝えられることも多かったため、今後機材トラブルが起らないよう、映像確認を密に出来るよう改善していく。

トークセッションでは、図子メンタルクリニック院長 圖子 義文氏、講師の中村 光夫氏、映画「だいじょうぶ」の監修を行った岡本 匡史氏による、映画の作成背景等を交えて「つながる優しさ」をテーマについてトークが展開された。岡本氏の「家族は介護者ではない」という言葉は、聞いている観客に響いたようで、「家族としてどう寄り添うか考えさせられた」という声があった。

今回12:30～16:00と時間をしっかり使った講演会であったが、とても充実した内容であった。「老々介護」が多く子供たちは県外...といった介護世帯が増えてきている今、「住み慣れた地域で」がなかなか実現するのが難しい現状もある。

そのような状況にあっても、「認知症」になっても住み慣れた地域で自分らしく生活していけるよう「地域で見守る・支える」必要性を今後も発信していけるよう普及啓発活動を継続していきたい。

文責 飯田 彩

【講演会全体の感想】

- ・ 映画の内容が分かりやすかった。講演も認知症の方との関り方や新しい認知症観について知ることができた。
- ・ 何にも知らず参加したが、夫が物忘れがひどく家で暮らしているが、ユマニチュードが大切だと思った。
- ・ 学生の協力があり幅広い年代で取り組めたことに意義を感じている。来場者も多くたくさんの方と共有できたと思う。
- ・ 難しい言葉ではなく分かりやすい言葉で話してくれたので、内容が入りやすかった。映画では地元の人が演じることで、感情移入してみることができた。「だいじょうぶ」という一言が、こんなに温かい言葉だと初めて知った。
- ・ 講演になかったセンターパーソンドケアを話に出すより、中村先生、岡本先生の話をもっと聞きたかった。
- ・ 虹色サクソフォンカルテットの演奏がとてもよかった。
- ・ 認知症の内容で、講演、映画、トークセッションと形態を変えて飽きることのない講演会だった。
- ・ 「地域で支える」という部分の地域の現状について、情報がもう少し知りたかった。
- ・ 笑いあり、涙ありで心に響きました。
- ・ ユマニチュードについて最近調べたが、今ひとつ分かっていなかった部分が本当によく分かった。「新しい認知症観」は知っていたが「古い認知症観」を知ることで理解が深まった。トークセッションで、これから何を大事にしたら自助・共生・共助になるのか共生社会の仕組みが少し分かりました。
- ・ 映画を見て娘から本人へ対する言葉がけに、自身親ならしてしまうかなあと思いながら見ていた。責めることはせず、できるだけ優しく接したい。
- ・ あいな商店街、もうすたれてしまって今はないですね。あたたかくていいなと思いました。
- ・ 認知症に寄り添える心の余裕が欲しいです。
- ・ 初参加でしたが、参加してよかったと思いました。「認知症」への考え方、新しく知識を得るためにもずっと続けてほしい講演会です。
- ・ 「認知症」の映画を初めて見ました。自分が家族の立場だったら「しっかりしてよ」と言ってしまうと思うが、しっかり理解して寄り添いたいと思った。
- ・ 利用者さんと目を見て体に触れてもっともっとコミュニケーションをとっていきたいです。
- ・ 認知症を否定せず、受け入れて、家族が出来ない部分を手伝って上げれるようにしたい。
- ・ 認知症カフェについて大阪市でももっと充実すればいいなと思いました。（用意して終わりではなく）認知症の人やそのご家族が安心して活動できる場所になるためには内が必要かを深めていきたいです。
- ・ 地域でも近所の人が「ちょっと前と違うなあ」と思ってもどのように伝えたらいいのか迷うことがあります。今日の映画のように民生委員さんに相談します。
- ・ 中村先生がおっしゃった「人に触れるときは広い面で触れるとより安心感がある」というのを知らなくて、さっそく自分自身で試してみました。なるほど！
- ・ 映画「だいじょうぶ」をみて「ああわたしも母親に対してあんなふうに声掛けをしていたなあ」と気づかされました。素人の出演者ばかりとお見受けしてより、実際街中で起こっていること、起こりそうなこ

とがリアルに描かれているなと感じました。

- ・講演を楽しみにしていたけど、動画で躓いてしまって興味が薄れ残念だった。
- ・サクスの演奏で一緒に歌わせてもらって楽しかったです。楽器の音色も心地よくゆったりとして時間を過ごせました。
- ・現実、病院に行っても先生は診断を下すだけでやさしさはありません。家族の人はどうすればいいのかわかっていません。そういうのを教えてほしいです。
- ・トークセッションについては、難しいとは思いますが認知症の人を介護した経験のある家族も交えて話すことでもっと身近に感じる事が出来たのではないのでしょうか。
- ・とてもよかった。友人が認知症カフェを開いています。私もみんな集めて開きたい。
- ・認知症カフェがどこにどれくらいあるのか知られていないので知りたい。
- ・司会の方、盛り上げ方がとても上手で講演会にずっと入れる空気づくりがすごかった。内容も興味深く今後も続けてほしいです。

※重複した内容は省略。今後の普及啓発につなげられるような内容に赤字。